

戸定歴史館 令和5年度 夏季展 「殿様たちの自由時間」～植物をめぐるモノ語り～

徳川昭武や兄・慶喜、昭武の息子・武定ら徳川家の人たちは、趣味の時間を楽しみ、いろいろな作品を残しています。特に明治新政府の政治の中心から離れていた昭武・慶喜兄弟は、写真、手芸、絵画、陶芸など幅広い分野に興味を持ち、熱心に探究を重ねました。今回の展覧会では徳川昭武の多彩な趣味の中でも植物に注目し、徳川昭武が植えさせた植物や園芸についての品々を、松戸徳川家資料を中心に紹介します。

さらに今回は、千葉大学アカデミック・リンク・センター（附属図書館）と連携協力し、松戸分館が所蔵する江戸～明治時代の植物に関する貴重書や、日本植物学の父・牧野富太郎が監修した雑誌などを特別に展示します。「植物」というテーマを通じて、戸定が丘一带の“モノ語り”に触れ、新たな気づきや発見に出会える展覧会です。

企画展概要

- 会 期 令和5年／2023年7月8日（土）～9月3日（日）
- 展示数 約60点（複写写真、展示入替分を含めた予定点数）
※期間中、作品保護のため、一部展示替えを行います。
※作品のコンディションによって、展示内容が変更になる可能性があります。

- 展示構成

第 1 章
第 2 章
第 3 章
第 4 章

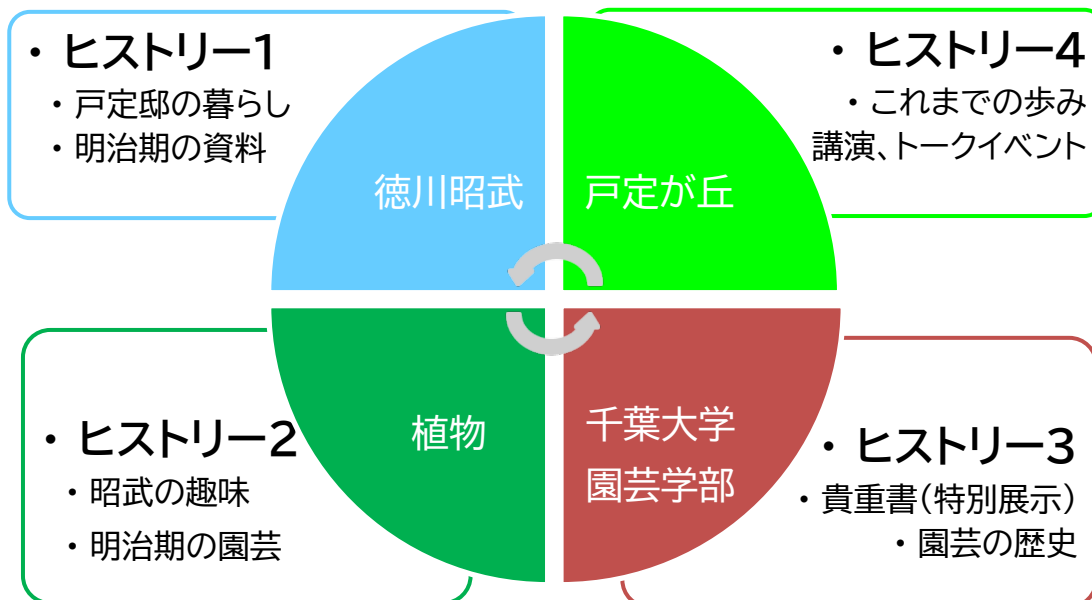
 - 徳川昭武と多彩な趣味
 - 植物への興味
 - 戸定邸をめぐる植物
 - 旅行と写真—夏休みの過ごし方

今回企画／展覧会テーマのイメージ

ヒストリーを骨子にした展覧会を開催する。

徳川昭武が戸定邸で楽しんだ趣味について総括しつつ、特に植物への興味関心について、資料、写真から読み解く。

- ヒストリー1： 徳川昭武の趣味を紹介
- ヒストリー2： 趣味の中でも園芸、植物への興味に特化した資料を紹介
- ヒストリー3： 千葉大学図書館所蔵の植物に関する貴重書を特別展示
- ヒストリー4： 戸定が丘の歩み、植物をテーマにイベントを開催（秋頃を予定）



【展示予定資料】



写真「四号 ムロン・シュ克蘭・ド・テウール」
1907.7.24 徳川昭武撮影
松戸市戸定歴史館所蔵



植木鉢 (瑠璃釉・鶴、波濤、縦縞文)
松戸市戸定歴史館所蔵

※同種の植木鉢 5 点を一挙展示

※千葉大学アカデミック・リンク・センターからの出陳資料は、現在、10点を予定しています。

※千葉大学アカデミック・リンク・センター所蔵資料の写真画像は、手続き完了後に提供の予定です。

【プレス向け内覧会（予定）】

2023年7月7日（金）14:00

※ 学芸員が展示内容についてご案内します。

施設情報

- 会 場 戸定歴史館・展示室（松戸市松戸714の1）
- 入館時間 9時30分～16時30分（17時閉館）
- 休 館 日 月曜（休館日が祝日の場合は翌日休館）
- 入 館 料 一般150円（戸定邸との共通入館券一般は320円）
高校・大学生100円
（戸定邸との共通入館券高大生は160円）

※中学生以下無料

※団体（20名以上）、市内在住70歳以上は割引料金あり



■戸定邸とは……明治時代の徳川家の住まいがほぼ完全に残る全国で唯一の建物です。建物は国の重要文化財、旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）は国の名勝に指定されています。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0092 千葉県松戸市松戸714-1

松戸市生涯学習部戸定歴史館

☎047-362-2050（月曜休館） FAX047-361-0056

✉ mctojourekishi@city.matsudo.chiba.jp